

㈱ヨネミツ 環境行動計画

平成20年6月25日

取組方針

株式会社ヨネミツは、『常に最高の品質を求め続ける』をモットーに、顧客満足の上昇のため優れた技術力と人材をもって顧客が満足する品質を提供しています。

また、建設業者として、当社の事業活動を進めていく中で、環境問題の熟知、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図り、地球の未来を考え、環境保全の精を広げて進歩・発展していくことを目指してまいります。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物排出量の制御
- ③ 適切な資源利用
- ④ 地域の環境保全、環境教育

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年 6月25日

株式会社ヨネミツ

代表取締役社長 加藤 正人

■環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な具体的な取組項目は、次の通りです。

目標-1	二酸化炭素の排出量（売上高当たり）を5%削減目標とし平成19年度を基準として平成22年までに381（kg-CO ₂ /百万円）に削減する 1年目⇒2%削減 2年目⇒3%削減
具体的な取組	<p>1.事務管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調温度は適温に調節する。（冷房28度程度、暖房20度程度） ・空調は必要な区域、時間に制限して使用する ・人のいない区域、明るい区域は必要最小限で消灯の徹底 ・OA機器の節電機能を活用する ・週1回のノー残業デーを設ける <p>2.輸送・移動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車で移動する場合は、乗りあわせを徹底する ・エコドライブ10の取組を心がける ・車両の点検・整備と燃料の確認を定期的に行う ・重機・ダンプトラックの燃料の低減を図る <p>3.生産活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排出ガス対策型建設機械の使用の徹底を図る

目標-2	一般廃棄物排出量（売上あたり）を3%削減目標とし平成19年度を基準として平成22年までに960（kg/百万円）に削減する 1年目⇒1%削減 2年目⇒2%削減
具体的な取組	<p>1.事務管理、生産活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再使用・リサイクルしやすい製品を優先的に購入・使用する ・排出する一般廃棄物の分別を徹底 ・排出する一般廃棄物の量を調べる ・シュレッダーの使用を機密文書に限る

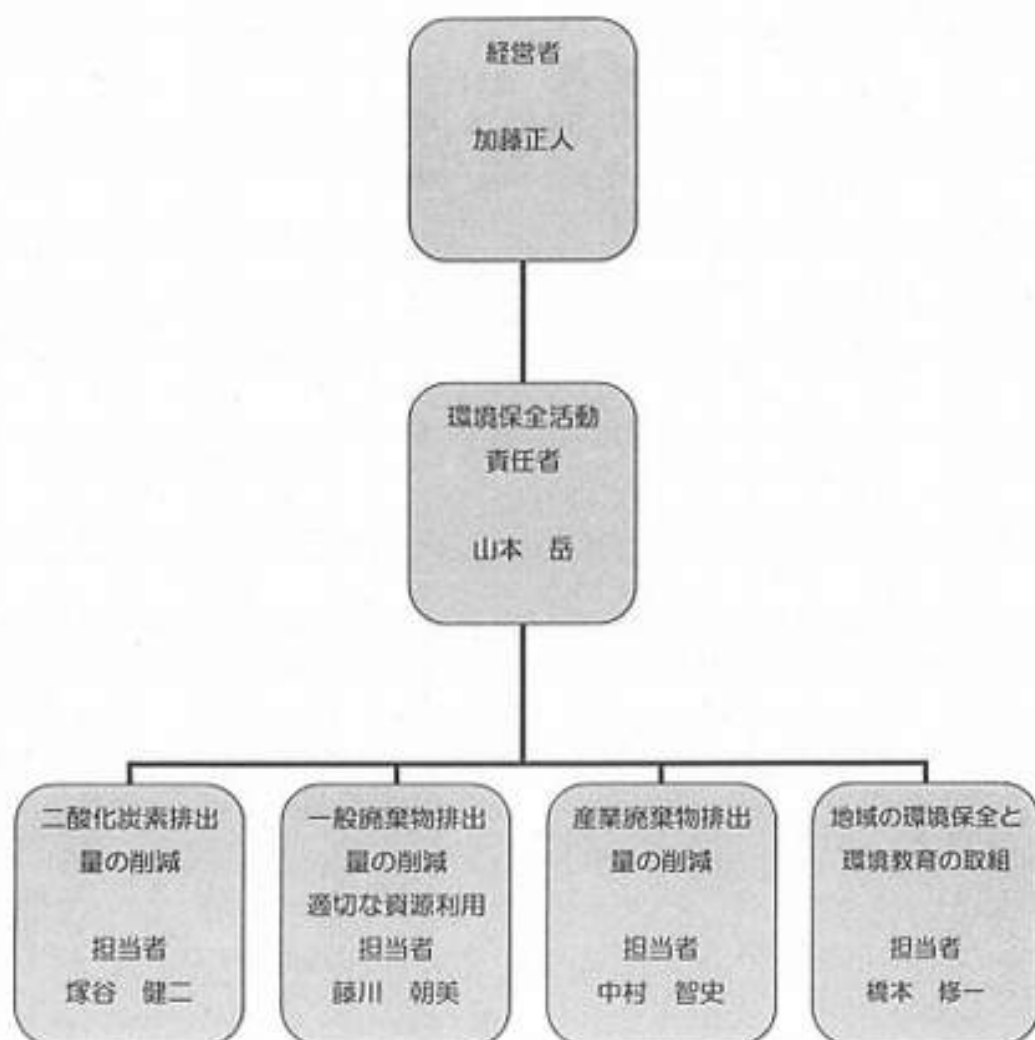
目標-3	産業廃棄物排出量（売上あたり）を3%削減目標とし平成19年度を基準として平成22年までに3.56（トン/百万円）に削減する 1年目⇒1%削減　2年目⇒2%削減
具体的な取組	1.生産活動 <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物を分別・回収・リサイクルするための設備の改善 ・マニフェストをもとに産業廃棄物の適正な処理を確認する ・産業廃棄物の最終処分先を定期的に直接チェックする ・リサイクル製品の使用を増加させる

目標-4	適切な資源利用のため使用量を5%削減目標とし平成19年度を基準として平成22年までに水使用量が154㎡に削減、コピー用紙使用量が93kgに削減する 1年目⇒2%削減　2年目⇒3%削減
具体的な取組	1.事務管理 <ul style="list-style-type: none"> ・両面コピーと裏紙利用を徹底する ・電子情報機器の利用により、ペーパーレス化を進める ・グリーン購入の推進の取組 2.生産活動 <ul style="list-style-type: none"> ・洗車等をするとき、水を流しっぱなしにしないようにする

目標-5	地域の環境保全と環境教育の取組
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃等ボランティア活動に参加、協力する ・敷地内の緑化を行う ・公民館、団体等からの環境保全に関する要請に対して協力する ・従業員にいしかわ家庭版環境ISOの取組を進める ・環境保全のための仕組みづくり

いしかわ事業者版環境ISO

環境ISO管理体制図



環境活動委員会を設け、半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。